



カラダにイイこと デカフェ美活

脱カフェイン生活でカラダに起きる変化

- 夜、ぐっすり眠れるようになった。
- 気持ちの浮き沈みが無くなった。
- イライラしなくなった。
- 寝起きがスッキリする。
- 頭痛が減った。
- トイレ回数が減った。
- 肌がきれいになった。髪質も良くなった。

脱カフェインで
好転反応

カフェイン離脱症状

カフェイン中毒者がカフェインの摂取をやめた場合に起こる可能性があり、偏頭痛、過度の眠気、集中力の減退、疲労感、不安、吐き気、発汗、カフェイン渴望などとして現れる。症状は、カフェイン摂取を辞めて48時間以内に出現し、2～4日の短期間で治まる。
離脱症状が気になる場合は、徐々にカフェイン量を減らしカラダを慣れさせていきましょう。
例えば夕方以降や就寝前などは、デカフェ、それ以外はカフェイン入りなど。

質の高い睡眠は、美容・健康にも結びつく

- 疲労回復
- 生活習慣病の予防
- 肥満予防、太りにくく
- ストレスやうつ症状の緩和
- 美容促進・美肌効果

上質な睡眠をとることで
美容と健康に嬉しい効果！

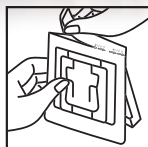
キーワードは「デカフェ」存知ですか？ 興味を持ったお客様には試飲で

- ・ お客様の中には、デカフェを知らない方もいますので興味を持っていただいたら試飲できることをお伝えしましょう。
- ・ 特に妊娠中、授乳中のお客様でコーヒーの摂取を控えられてる方へお伝えしてみましょう。
- ・ 「飲むと寝れなくなるから…。」「好きだけど飲むとお腹の調子が悪くなるから外では控えている」など外でコーヒーの摂取を控えてる方もいますので、お伝えしてみましょう。



サロンのドリンク
メニューとしても！

デカフェ 美味しい飲み方



バッグのキリトリの矢印にそって封を開けてください。



両サイドに引き手を持って注ぎ口を広げてください。



フックの上下を折り、カップのフチに引っ掛けて固定してください。



熱湯を少量注ぎ30秒程蒸らした後にお湯を数回に分けて注げば出来上がりです。



手に取っていただきやすく個包装販売も

お持ち帰りに便利な
キャリー BOX タイプ

世界で唯一化学薬品を一切使用しないスイスウォータープロセスにより、99.9%のカフェインを安全にカットしたデカフェです。さらに、当社独自のALPSIONミネラル還元水焙煎により、酸化を抑えブラジル豆の旨味を最大限に活かす製法で製造しております。カフェインレスですが、コーヒーらしい香りやコクがしっかりと感じられます。ブラジルらしいほろ苦さもありながら、苦味・雑味が無くクリーンな味わいです。日々の健康を気遣っている方や妊娠中や授乳中の方も、就寝前にも、デカフェならカフェインを気にすることなくいつものコーヒータイムをお楽しみいただけます。

- 名称：レギュラーコーヒー（粉）
- 原材料名：コーヒー豆（生豆生産国名：ブラジル）
- 賞味期限：製品枠外に記載
- 保存方法：高温多湿を避けて保存してください。



ALPSION DECAF は、
スイス・ウォーター社の
ブランドサポートを受けて
います。



ALPSION デカフェ
7g×30 パック
希望小売価格 ¥3,780 (税込)



ALPSION デカフェ
7g×7 パック
希望小売価格 ¥1,026 (税込)

ALPSION デカフェ
7g×100 パック ▶ オープン価格

ALPSION®

商品に関するご質問・お問合せは

株式会社 F's ビューティー
TEL 052-589-2907 URL <http://alpsion.com>

コーヒー本来の味と香り

そのまま



おいしいデカフェコーヒー



CAFFEINELESS
DRIP
COFFEE



99%
CAFFEINE
FREE

DECAF
ORGANIC BLEND

ミネラル還元水
焙煎

ノンケミカル
カフェイン抽出法

カフェインフリー
99.9%



話題の“デカフェ”とは？

デカフェ (decaf) の「デ (de)」は、フランス語で「抜く・除く」という意味でカフェインレスやノンカフェインのことです。
カフェインの摂取による身体への影響からデカフェが注目されています。

デカフェ (カフェインレス・フリー) の市場背景

厚生労働省が就寝前のカフェイン摂取を控えることを推奨した影響や、健康志向の高まりによりコーヒーやカフェインを含む飲料のオフ・ゼロ・フリー化が進んでいます。“デカフェ”と呼ばれる表現は、2015年頃から登場し美容意識の高い女性を中心に広がりを見せています。一部のコーヒーチェーンやコンビニコーヒーではすでにデカフェメニューが登場してきており今後、さらなる市場の拡大が進むと予想されます。
拡大が進む理由としては、海外ではデカフェがスタンダードになっており2020年の東京五輪に向けて欧米人を中心としたインパウンドによるデカフェ需要の増加があげられます。これら健康志向の高まり、インパウンドによりデカフェ市場の急速な拡大が期待されています。

カフェイン摂取量と影響

✓夜、眠れなくなる。

✓頭痛・胃痛が起こる。

✓妊娠中や授乳中は心配で飲めない。

✓カフェイン中毒・依存症が気になる。

- ・重度の中毒症状：吐き気、頭痛、胃痛、不安感、疲労感
- ・軽度の中毒症状：トイレが近くなる、のどが渇く、興奮



	推奨最大摂取量 (ミリグラム)	飲料換算	機関名
健康な成人	400.0	3.0 杯	カナダ保健省 (HC)
	300.0	2.2 杯	
妊婦・授乳中	200.0	1.5 杯	英国食品基準庁 (FSA)
	300.0	2.2 杯	世界保健機関 (WHO)
子ども (10～12 歳)	85.0	0.6 杯	カナダ保健省 (HC)
子ども (7～9 歳)	62.5	0.4 杯	
子ども (4～6 歳)	45.0	0.3 杯	

(注) 食品安全委員会の資料をもとに作成。カナダ保健省はコーヒーマグカップ1杯237mlと定義。FSAとWHOの妊婦に関する飲料換算は、カナダ保健省の基準をもとに計算。

カフェインの人に対する影響
カフェインは、神経を鎮静させる作用を持つアデノシンという物質と化学構造が似ており、アデノシンが本来結合する場所 (アデノシン受容体) にとりついてアデノシンの働きを阻害することにより神経を興奮させます。コーヒーは、適切に摂取すれば、がんを抑えるなど、死リスクが減少する効果があるという科学的データも知られていますが、カフェインを過剰に摂取し、中枢神経系が過剰に刺激されると、めまい、心拍数の増加、興奮、不安、震え、不眠が起こります。消化器系の刺激により下痢や吐き気、嘔吐することもあります。
長期的な作用としては、人によってはカフェインの摂取によって高血圧リスクが高くなる可能性があること、妊婦が高濃度のカフェインを摂取した場合に、胎児の発育を阻害 (低体重) する可能性が報告されています。特に、市販されているエナジードリンクや眠気覚まし用の清涼飲料水の成分表示の多くは、100ml当たりの濃度で書かれています。缶や瓶1本当たりになると、コーヒー約2杯分に相当するカフェインを含むものもありますので、1日に何本も飲まないように注意しましょう。【農林水産省 WEB サイトより抜粋】

海外では、デカフェがスタンダード!!



“デカフェ”が好まれる理由

夜、リラックスしたい時も安心して飲める

就寝前に飲んでもぐっすり眠れる

飲んでも頭痛や胃痛にならない

妊娠中・授乳中の方でも

カフェインを気にせず飲めるデカフェが健康・美容意識の高い女性を中心に広がっている!



コーヒー本来のおいしさと香りはそのまま カフェイン99.9%カット ALPSion デカフェが美味しい3つの理由

Swiss Water®
抽出プロセス



世界で唯一の化学薬品を100%使用しない「スイス・ウォーター社」のカフェイン除去方式です。コーヒー本来の風味・香りを損ねることなくおいしい珈琲に仕上がります。



ALPSion
ミネラル還元水
焙煎

風味と香りを守る独自の抗酸化焙煎

コーヒーの味は「良い酸味 (シャープな爽快感)」と「悪い酸味 (ツーンとした酸っぱさ)」に分かれ悪い酸味は、豆が酸化する事で感じることが多くなります。ミネラル還元水を与えながら煎ることで酸化から守り【いい酸味】を保ちます。



厳選ブラジル豆
100%

バランスの取れた味わい

絶妙なバランスの苦味と酸味、甘さを感じる香りと余韻を残すコク、そしてさっぱりとした後味は、ブラジルならではの感覚です。日本に一番多く流通しており親しみなれた味です。



デカフェの美容と健康に嬉しい効果

“コーヒーポリフェノール” (クロロゲン酸) と “トリゴネリン”

抗酸化物質は、緑茶の2倍!! ワインに匹敵

ポリフェノール含有量 (食品100g当り)	
緑茶	115mg
紅茶	96mg
赤ワイン	230mg
コーヒー	200mg

クロロゲン酸の効果

- ・糖質吸収抑制
- ・メタボ脂肪燃焼
- ・血糖値抑制
- ・血液サラサラ
- ・シミ抑制

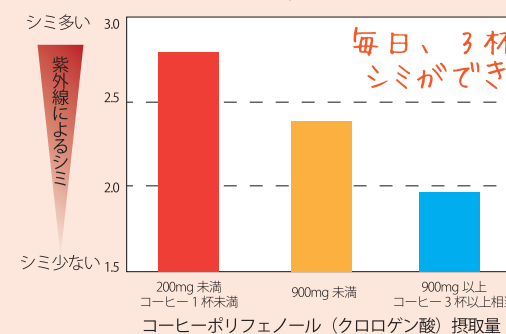
コーヒー特有の注目の健康成分

トリゴネリン 含有量 (mg/100g)	
ブラジル豆	991mg
コロンビア豆	853mg
セロリ	73mg
カツオ節	3mg

トリゴネリンの効果

- ・脳神経細胞活性化
- ・認知症予防
- ・脳の老化予防

コーヒーを飲む人は、シミがでにくい!!



糖質吸収抑制や脂肪燃焼効果でダイエットにも期待

コーヒーポリフェノール (クロロゲン酸) の抗酸化作用によりシミを抑制すると言われています。非喫煙者の女性131人 (30歳～60歳) を対象とした紫外線によってできる紫外線シミ研究では、1日にコーヒー3杯分となる900mg以上のコーヒーポリフェノールを摂取している人は、200mg未満の人に比べて、シミが少ないこともわかっていました。また、コーヒーに含まれるポリフェノールには、糖質の吸収を抑える働きや脂肪燃焼効果があるとされておりダイエット効果も期待されています。